各 位

会 社 名 株 式 会 社 鉄 人 化 計 画 代表者名 代表取締役社長 堀 健一郎 (証券コード 2404 東証マザーズ) 問合せ先 執行役員管理本部担当 浦野 敏男 (TEL 03-5726-8440)

# 平成 26 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 14 日開催の取締役会において、平成 25 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 26 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### ● 平成26年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異について

平成26年8月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(平成25年9月1日~平成26年2月28日)

1/9/100 1 0/1/91/17 11 1/91 (	ALELY CONDUCTOR		. / (   /// <b>/</b>   = 0   0	7 4 - 1: 1794	1 = / 4 = - 1 - /
	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	5, 388	186	129	24	3. 87
今 回 実 績(B)	5, 087	74	56	△26	△4. 31
増減額(B-A)	△301	△111	△73	△50	
増減率(%)	△5. 6	△59.8	△56.6	_	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年8月期第2四半期)	4, 928	181	140	12	2.09

平成26年8月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異(平成25年9月1日~平成26年2月28日)

- 1/4/15   1 0/1//// 1 1 1 /// (水田/					
	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円銭	
前回発表予想(A)	4, 819	193	103	16.63	
今 回 実 績(B)	4, 528	104	42	6.77	
増減額 (B-A)	△291	△88	△61		
増減率(%)	△6. 0	△46. 0	△59. 3		
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年8月期第2四半期)	4, 406	86	△11	△1.81	

# 差異の理由

第2四半期累計期間においては、主力事業であるカラオケルーム運営事業において、大手チェーン店の積極的な出店により競合環境は著しく激化しております。

このような事業環境において、当社は出店政策を変更し収益性と効率性を重視した厳選した店舗での出店に取組むとともに、差別化政策としてオリジナル楽曲の提供を拡充させるなど積極的な営業を展開してまいりましたが、当社の出店地域における競合激化によりシェアが減少したことに加えアルバイト人件費や電気料金負担が上昇したこと、オリジナルコンテンツの確保に対する先行投資コストが増加したこと並びに海外店舗事業の業績不振などを主な要因として営業利益面で当初見込んだ収益の確保に至りませんでした。

#### ● 平成26年8月期通期業績予想の修正について

平成26年8月期通期 連結業績予想数値の修正(平成25年9月1日~平成26年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	10, 500	507	413	100	16. 17
今回修正予想(B)	10, 148	284	218	66	10.74
増減額 (B-A)	△351	△222	△194	△33	
増減率(%)	△3. 4	△43. 9	△47. 1	△33. 6	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 8 月期)	10, 000	346	293	42	6. 77

#### 平成26年8月期通期 個別業績予想数値の修正(平成25年9月1日~平成26年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9, 355	458	188	30. 39
今回修正予想(B)	9, 053	264	47	7. 67
増減額 (B-A)	△301	△194	△141	
増減率(%)	△3. 2	△42. 4	△74. 8	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 8 月期)	8, 893	456	179	28. 97

## 修正の理由

平成26年8月期通期業績予想については、第2四半期までの業績動向を反映するとともに、主力事業であるカラオケルーム運営事業の厳しい競合環境が続いていることを背景に下期計画を見直し、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、下期計画においては、カラオケルーム運営事業に注力し、潜在的に収益力の高い店舗への 積極的な営業施策を施すことにより効率的な収益向上を図ってまいります。これに併せて、店舗原 価と販管費の管理強化を実施し、収益面とコスト削減面とで業績の回復を図ってまいります。また、 不振の海外事業(韓国)においては、将来の収益性を検証するとともに、事業再編も視野に検討し てまいります。

※上記の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業 績はこれと異なる可能性があります。

以上